

畿央大学 人材育成の目的

【健康科学部】

WHOは「健康とは単に病気でない、虚弱でないというだけでなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも健全な状態であること」と定義している。健康科学部では人間の身体と健康についての科学的視点や高い専門的技術を養うことと合わせて、建学の精神に則り、豊かな人間性を持ち、人の心の痛みに共感することができる人材を育むことを目的とする。

生命の尊厳を基盤に豊かな人間性と徳性を培い、本学部を構成する理学療法学科、看護医療学科、健康栄養学科および人間環境デザイン学科の学科を越えた取り組みを行なうことによって保健・医療・福祉、日常生活環境を総合的に把握し、専門的知識と的確な技術をもって地域社会及び国際社会に貢献する人材を育成する。

《理学療法学科》

リハビリテーションには、疾病、外傷などによって失われた機能を回復するためのすべてのサービスが含まれ、その教育研究についても、治療・訓練の他、装具・日常生活用具の活用などさまざまな分野がある。近年では、高齢化社会の進行と障がい者の増加に伴い、また健常者については疾病の予防などのために、多種多様な保健・医療・福祉のサービスが必要とされてきている。そしてこれらのサービスの多面的かつ包括的な需要に応えるためには、高度な知識や技術を持った支援者が必要である。

このような支援者の役割の一翼を担うのが理学療法士であり、健康で幸福な生涯を全うしたいと願う多くの国民のニーズに応えるためには、専門職としての理学療法士の需要は今後ますます高まることが予想される。本学科では4年間の学修によって深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、人間を総合的に支援できる幅広い教養と倫理観を持った人材を育成することを目標としている。さらに、保健・医療・福祉の各分野の専門家と連携、協力し、役割分担をしてチーム医療に参画することのできる理学療法士を養成する。

《看護医療学科》

病院においてはチーム医療や高度医療、地域においては訪問看護などの場面で、看護師には、周辺分野の知識や教養、協調性、人間性などが求められている。本学科では、理学療法学科、健康栄養学科、人間環境デザイン学科とコラボレーションし、理学療法士や管理栄養士らとのチーム医療で活躍する看護師、また住環境や地域環境から健康に目を配ることの出来る保健師を養成することによって、乳幼児から高齢者までの健康な暮らしの実現に貢献する。

今後、看護師は「人々の生活が営まれるあらゆる場でそこに生じている利用者のニーズに対し、責任を持って問題解決していく能力が求められている（看護実践能力育成の充実に向けた大学卒業時の到達目標）」ことから、人間生活の営まれる地域社会との連携を重視した教育研究内容を持つこととする。これらを通して、人の痛みや健康への願いを汲み取り、「心」の声を聴くことのできる感性を磨き、高い専門性と臨地に役立つ実践力を持ち「全人的ケア」を行なう人間性豊かな看護師・保健師を養成する。

《健康栄養学科》

国民の栄養状態の向上という社会的要請から生まれた栄養士は、食や栄養をめぐる社会環境の変化を常に厳しく分析し、それに対応していく必要がある。高齢化と食環境の変化が急速に進行する中で、栄養士には集団給食の栄養管理だけでなく、傷病者を含む個人への栄養指導や疾病治療における栄養管理が求められるようになってきた。特にチーム医療への参画や福祉・介護分野との連携の必要性が高まり、科学的な栄養評価・判定に基づく指導を行なうことができる、高度な専門知識・技能を持った管理栄養士の養成が求められている。また、個々の人間を対象に栄養指導を行なうためには、豊かな人間性や教養、コミュニケーション力を育てる教育が重要となる。

本学科では食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康のために望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決能力を持った管理栄養士を養成する。

《人間環境デザイン学科》

高齢化や多様化が進む社会において、幼児や高齢者、障がい者のみならず、すべての人が健康で心豊かに生活できる環境を創造することが求められている。そのためにはまず人体の構造や機能についての科学的視点を持つと同時に、使い手の心情に対する深い人間理解が必要である。さらに、実際に人が快適に使える物を作りあげる「ものづくり」の専門的知識と確かな技術が必要となる。

本学科においては「ユニバーサルデザイン」に裏打ちされた衣服や生活用品づくりをはじめ、人々の居住環境としてのインテリアや建築、安全で活力のあるまちづくりまで、幅広い領域を対象とした教育研究を行なう。本学科の建築・まちづくりコースにおいては高度な専門知識と技能を備えた建築士を養成し、それ以外のコースにおいてもインテリアやプロダクト、ファッションなど様々な専門分野で活躍できる能力を身につけ、健康で快適な環境をデザインできる実践的な問題解決型の人材を養成する。

【教育学部】

《現代教育学科》

教育学部現代教育学科は、建学の精神を教育の基本とし、現代の教育課題に真摯に取り組み、それらを協働して解決していくための「信念」「知識」「実践力」を兼ね備えたタフな教育専門家を育成する。本学科が育成する教育専門家とは、幼稚園教諭、保育士、小学校教諭、中・高英語教諭、養護教諭、特別支援学校教諭をはじめ、広く教育に関する資質能力を生かして活躍する人材を指す。彼らが活躍する場は学校や保育施設、企業や行政など様々であるが、本学科がめざすのはそれぞれの現場においてチームを組んで動くことができ、地域と連携することができ、多様な子どものニーズに対応することができ、活動の核となることができる人材の育成である。

そうした人材には、教育に関する幅広く高度な専門的知識、実践的な課題解決能力、そして健全な心身と豊かな人間性が不可欠である。さらに、優れた教育専門家が備えておくべき資質として近年その重要性が増している ICT（情報通信技術）を活用した授業スキルや、特別支援教育に関する知識などについても修得しておく必要がある。そのために本学科では、①「教養科目」によって健全な心と身体を育み、豊かな人間性を身につけ、②「専門基礎科目」によって教育についての幅広い素養を身につけ、③「専門科目」によって教育の専門家として必要な専門的知識と実践的スキルを身につけ、④「卒業研究」によって 21 世紀を生き抜くための批判的思考力と創造力を身につける。また各種実習やインターンシップなど現場体験活動によって、実践的な課題解決能力を持った人材を育成する。

【大学院】

《健康科学研究科健康科学専攻 修士課程》

本研究科修士課程においては、「健康」を総合的、科学的に捉え、包括的に現代的課題に取り組むために必要な健康科学を探究することを理念とする。

この理念に基づいて、健康科学の各分野における現実の課題に最先端の知識・技術で取組む高度専門職業人、現場の課題を解決するための研究開発力を持つ研究者、また高度専門職業人かつ研究者としての見識、技術を身につけた上で、次代の後継者を育てる高い教育力のある人材の育成を目的とする。

《健康科学研究科健康科学専攻 博士後期課程》

少子高齢化が著しく進み、自然及び社会環境が変化する中で健康をめぐる問題はより深刻なものとなり、その解決のためには高度な専門性と、人間や社会のありようについての豊かな学識が必要とされている。本研究科博士後期課程においては研究者として自立して創造性豊かなすぐれた研究・開発に取り組む研究者、確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた高等教育機関の教育者、そして病院をはじめとする臨床の現場で課題解決型の研究に取り組む専門的業務の指導者の育成を目的とする。

《教育学研究科教育実践学専攻 修士課程》

本研究科においては、現職教員等が、多くの専門領域における国際的かつ最先端の研究成果を学び、自ら研究活動に取り組むことを通して、高度な研究力と幅広く柔軟な思考力を身につけることをめざす。そして「総合的人間力」の向上に努め、地域の教育が直面している教育課程・学級経営・学校経営に関わる諸課題や子どもの発達支援を重点研究として取り上げ、最前線の教育課題に理論的科学的視点を持って実践的に取り組み、地域全体の教育の改善・発展に指導的立場から貢献できる人材を育成する。

【助産学専攻科】

妊産婦の精神的、身体的、社会的諸問題に対応でき、妊娠・出産から育児まで幅広く母子の健康を守ることができる助産師への社会的期待が高まっている。本専攻科は、建学の精神を教育の基本理念に置き、高潔な人格と助産学についての幅広く高度な学識・技術を身につけた助産師の養成を行なうことを目的とする。

【臨床細胞学別科】

各種の検診および早期診断技術の発達にともない、細胞診断業務の重要性と業務量が飛躍的に増加しており、この業務を担当する細胞検査士への社会的期待は大きい。本別科は、建学の精神を教育の基本理念に置き、高度な専門的知識を有し、がんの早期発見と正確な診断に寄与するとともに、医療全般でがん医療の向上に貢献できる資質の高い細胞検査士の養成を行うことを目的とする。

学部・学科の教育目標（人材育成の目的【抜粋】）

【健康科学部】

健康科学部では人間の身体と健康についての科学的視点や高い専門的技術を養うことと合わせて、建学の精神に則り、豊かな人間性をもち、人の心の痛みに共感することができる人材を育みます。

《理学療法学科》

理学療法学科では、深い専門的知識と高い技術を修得すると同時に、医療従事者として人間の尊厳、生命への畏敬を理解し、人間を総合的に支援できる幅広い教養と倫理観を持った理学療法士を養成します。

《看護医療学科》

看護医療学科では人の痛みや健康への願いを汲み取り、「心」の声を聴くことのできる感性を磨き、高い専門性と実践力を持ち「全人的ケア」を行なう人間性豊かな看護師・保健師を養成します。

《健康栄養学科》

健康栄養学科では食品・栄養・保健・医療分野にわたる教育研究を通して、健康のために望ましい食生活とライフスタイルのあり方を解明し、それを実践・普及することのできる総合的な問題解決能力を持った管理栄養士を養成します。

《人間環境デザイン学科》

人間環境デザイン学科においては、高度な専門知識と技能を備えた建築士や、インテリアやプロダクト、ファッションなど様々な専門分野で、健康で快適な環境をデザインできる実践的な問題解決型の人材を養成します。

【教育学部】

《現代教育学科》

教育学部現代教育学科は、建学の精神を教育の基本とし、現代の教育課題に真摯に取り組み、それらを協働して解決していくための「信念」「知識」「実践力」を兼ね備え、教育に関する幅広く高度な専門的知識、実践的な課題解決能力、そして健全な心身と豊かな人間性を持った教育専門家を育成します。